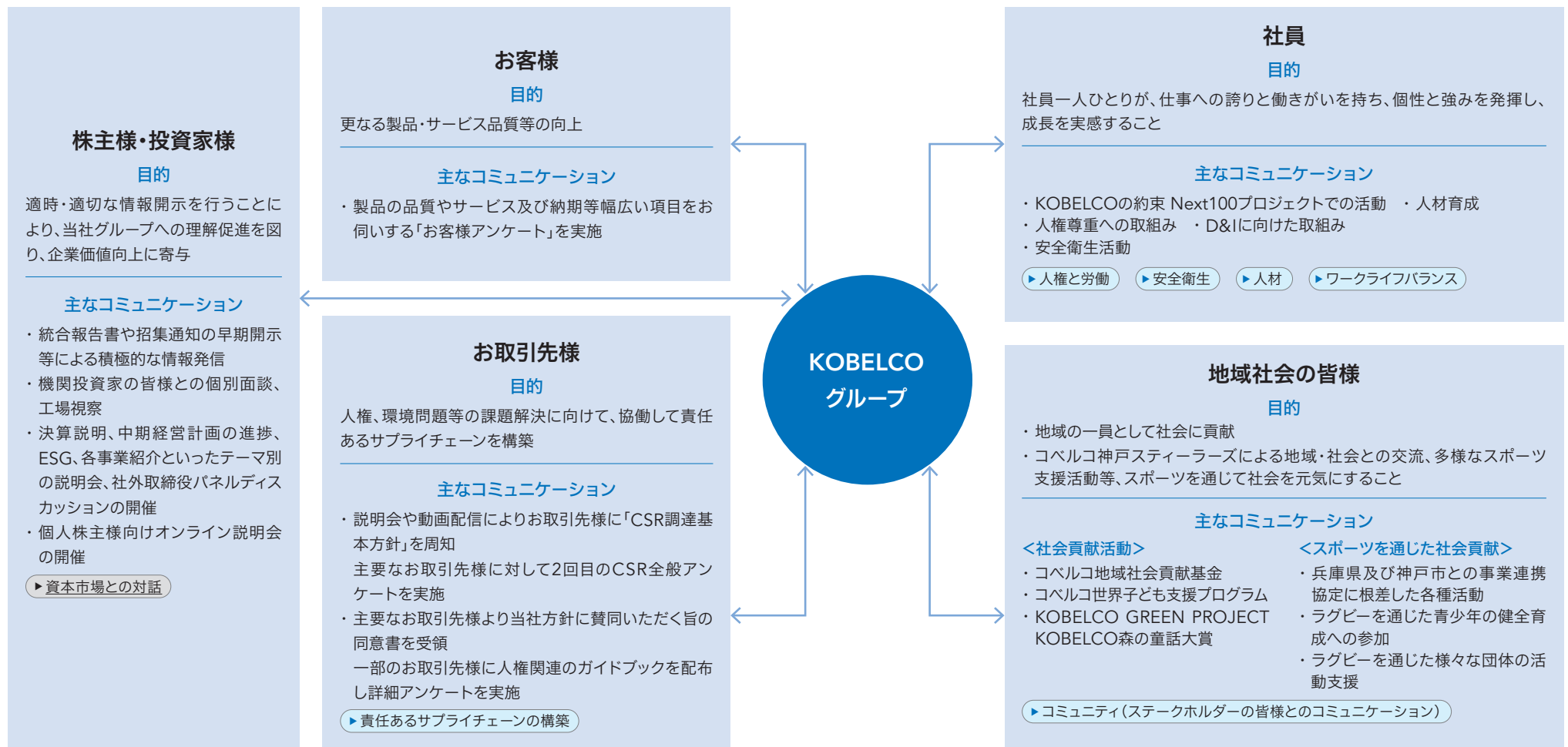


コミュニティ(ステークホルダーの皆様とのコミュニケーション)

KOBELCOグループは、ステークホルダーの皆様との積極的なコミュニケーションを実施しています。経営の透明性の向上を重要課題と認識し、適正かつ迅速な情報開示と、幅広い情報公開を進めています。

また、地域交流・地域振興、環境活動、スポーツを通じた社会貢献等、地域社会に貢献する様々な活動を行っています。

KOBELCOグループの主なステークホルダーの皆様



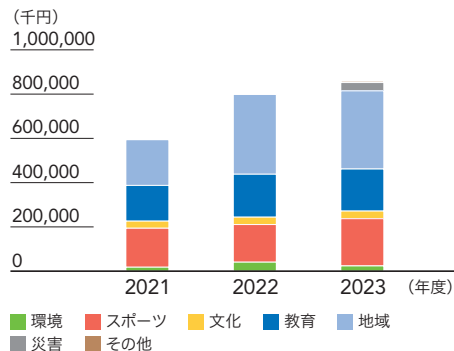
コミュニティ(ステークホルダーの皆様とのコミュニケーション)

社会貢献活動

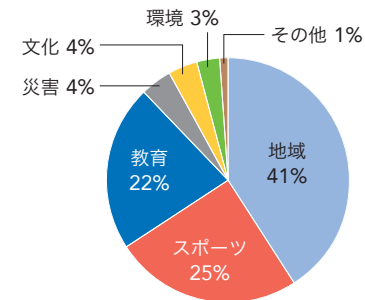
当社グループは、コベルコ地域社会貢献基金による子どもたちへの支援やスポーツを通じた支援活動等様々な社会貢献活動を行っています。2023年度は、ユニセフを通じた寄付や事業所が立地する地域自治体への寄付等、社会貢献活動費用として約8億5,000万円を支出しています。

2019年度以降、新型コロナウイルスの影響で社会貢献活動費用も減少傾向にありましたが、2023年度はイベントや活動が回復してきたこと及び能登半島地震への支援に伴い、増加となりました。今後の状況を勘案しながら、引き続き、社会貢献活動に取り組んでいきます。

KOBELCOグループの社会貢献活動費用



社会貢献活動費用内訳(2023年度)



地域に向けた社会貢献

● 灘浜ガーデンバーデン

灘浜ガーデンバーデンは近隣にある神戸発電所のエネルギーを活用した健康温浴施設です。地域住民の健康づくり、憩いの場としてご利用いただいています。

また、当該施設は災害時にはプール水を防火・消火用水・生活用水として活用できるなど地域の防災にも配慮しています。



● コベルコ地域社会貢献基金

創業100周年を機に2006年度に「コベルコ地域社会貢献基金」を設立し、子どもたちを対象とした支援活動を行っています。2023年度は各施設や団体に、グループ会社も含めて約560万円の寄付を行いました。基金による支援実績や取組みの概要については、当社ホームページをご覧ください。



スポーツによる社会貢献

● 兵庫県との包括連携協定に根差した活動

コベルコ神戸スティーラーズと兵庫県はスポーツ振興や地域創生等を中心に連携していくため、

- 1) ラグビーを通じたスポーツの振興
- 2) 産官学の連携による地域創生
- 3) 大震災の教訓を風化させないこと
- 4) アスリートによる“食の大切さ”の発信



を目的とした包括連携協定を2023年11月9日に締結し、子どもたちの試合観戦招待企画や県内大学と連携した地域活性化の取組み等の活動を行いました。

- ・小学5・6年生及び中学生を対象とした初心者向けラグビー教室の開催(加古川市、神戸市、伊丹市)

● 神戸市との事業連携協定に根差した活動

コベルコ神戸スティーラーズは神戸市をホストタウンとすることを掲げており、今後の神戸市との更なる連携強化を図るため、

- 1) ラグビーを通じたスポーツの振興及びラグビーワールドカップレガシーの創出
- 2) 市民の健康増進、青少年の健全育成、豊かな社会生活の実現に関すること
- 3) 地域活性化を推進すること
- 4) 国内外への神戸の魅力発信に関すること



を目的とした事業連携協定を2021年9月28日に締結し、2023年度は神戸市関係各局と連携した事業を行いました。

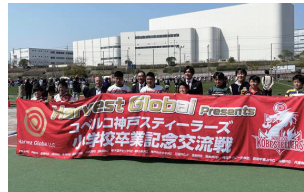
- ・神戸市内小学校でのラグビー教室【教育委員会】
- ・SDGsメッセージ発信コラボ【建設局】
- ・ラグビーワールドカップ2023フランス大会パブリックビューイングに参加【文化スポーツ局】
- ・こべっこウェルカムプロジェクトへの参画【こども家庭局】

コミュニティ(ステークホルダーの皆様とのコミュニケーション)

● 小学校卒業記念交流戦の開催

3月16日に開催した「NTTリーグワン2023-24」第10節 埼玉パナソニックワイルドナイツ戦の試合前に、神戸総合運動公園ユニバー記念競技場・補助競技場にて「Harvest Global Presentsコベルコ神戸スティーラーズ小学校卒業記念交流戦」を開催しました。

この大会は、大畑大介アンバサダーの「レギュラーであるなしに関係なく6年生全員がチームのユニフォームを着て、勝敗にこだわることなく試合をし、小学校最後の思い出をつくってほしい」との思いから2022年より実施しており、今年で3度目の開催となりました。



● 児童見守り隊活動の実施

2019年より神戸本社近隣小学校の登校中の児童を見守る活動を実施しています。



● ラグビーを通じた様々な団体の活動支援

〈盲導犬協会の活動支援〉

コベルコ神戸スティーラーズでは、「盲導犬育成及び、地域の盲導犬受け入れの理解」を深める社会福祉法人兵庫盲導犬協会の活動趣旨に賛同し、2020年より試合会場での盲導犬支援募金・チャリティーグッズ販売への協力を行っています。今年もたくさんの来場者にブースへお立ち寄りいただき、本活動へご協力いただきました。



〈神戸こども宅食プロジェクト(BE KOBE PROJECT)の活動支援〉

試合会場でのフードドライブのPR活動を実施しました。

▶コベルコ神戸スティーラーズ



● 高校ラグビーの普及・育成活動「KOBELCO CUP」

高校ラグビーの普及に貢献すべく、全国の高校生ラグビーの支援活動を目的とし、「KOBELCO CUP」を実施しています。今年で20年を迎える「KOBELCO CUP」は、日本ラグビーの強化・選手の育成を図るうえで、非常に重要な役割を果たしています。当社グループは、毎年、年末年始に、東大阪市花園ラグビー場で行われている全国高校ラグビー大会に特別協賛しています。



● 地域交流施設～灘浜スポーツゾーン～

灘浜スポーツゾーンでは、テニスコートと人工芝グラウンドを地域の皆様に一般開放しています。



教育に向けた社会貢献

● 灘浜サイエンススクエア

灘浜サイエンススクエアは、「製鉄」「発電」「エネルギー」「環境」の4つのテーマを結ぶ科学の広場です。展示室では、遊びながら科学・技術のおもしろさ、不思議さを体感でき、週末には実験教室等の楽しいイベントを行っています。また、周辺の緑地、施設内のビオトープは地域の皆様の憩いの場となっています。



被災者に向けた社会貢献

● 被災地への支援

当社グループでは地震等の自然災害に対し、支援を行っています。2024年1月に発生した能登半島地震について、日本赤十字社を通じ、3,000万円を寄付しました。

コミュニティ(ステークホルダーの皆様とのコミュニケーション)

● コベルコ世界子ども支援プログラム

地震や噴火等の自然災害や、紛争等で困窮する世界の子どもたちへの支援活動として2021年度に設立しました。2023年度はモロッコ地震への支援及び日本ユニセフ協会の「自然災害緊急募金」に合わせて500万円を寄付しました。当社は、今後も毎年、国連等の国際機関で実施している支援活動に対して寄付を行っていきます。

2023年度

ユニセフ(自然災害) : 400万円
モロッコ地震 : 100万円

文化に向けた社会貢献

● KOBELCO大ホール(文化活動支援)

兵庫県立芸術文化センター大ホールの命名権に関する契約※を通じて、活動支援をしています。

※命名権:企業が文化振興活動を支援する一環として、劇場や図書館等の公共施設に自らの名前を冠することを指します。



環境保全への貢献

● KOBELCO GREEN PROJECT

当社グループでは、環境の側面からも社会との共生・協調を目指しています。2013年度からは、CO₂の吸収源である森林の保全・整備等につなげる活動として、環境を大切にするという想いを育む環境貢献活動「KOBELCO GREEN PROJECT」をグループ全体で推進し、子どもたちの自然への想いを育む「KOBELCO森の童話大賞」やグループ社員による「森林整備活動」「児童館出前エコ教室」への参画等を行っています。

● KOBELCO森の童話大賞

KOBELCO森の童話大賞では、次世代を担う子どもたちに、様々な自然の恵みをもたらす森を大切にする気持ちを育んでもらうことを目的に、全国の小中高生から「森」をテーマにしたおはなしを募集しています。

金賞作品は絵本作家の挿絵で絵本化し、後援自治体所管の小学校・中学校・高校・特別支援学校・公立図書館等に、約2,000セットを寄贈しています。2023年度は569件の応募をいただき、小学生の部では小林彩野さんの『森の使者ジュラ』、中高生の部では平島柑奈さんの『森のかざり屋』が金賞を受賞しました。また、兵庫県立図書館や神戸市教育委員会等へ絵本を贈呈しました。



第11回金賞作品絵本

● 森林整備活動

2011年より、生物多様性をはじめとした環境機能、防災機能及び文化機能を健全に育むために、兵庫県の神戸市と三木市の2カ所(約5.6ha)で、社員による森林整備活動を行っています。



● 児童館出前エコ教室

神戸市の「神戸こどもエコチャレンジ21倶楽部」は、児童が環境に対する興味を持ち、環境に配慮した活動を継続して実践していけるように、「児童館出前エコ教室」を展開しています。

当社は、2011年より、鉄と電気をテーマに、環境や電気の大切さ、鉄の便利さを学ぶプログラムを提供しています。



KOBELCOのネオハルアクション(社会貢献活動ホームページ)を開設

KOBELCOの社会貢献活動を紹介するホームページ「KOBELCOのネオハルアクション」を開設しました。地域に根を張る(ネオハル)活動として、グループ社員が自ら活動したものを中心として掲載しています。

▶ KOBELCOのネオハルアクション



イニシアティブへの参画・社会からの評価

イニシアティブへの参画(主なもの)

TCFD



SDGs



ホワイト物流



2030年30%へのチャレンジ



国連グローバルコンパクト

輝く女性の活躍を加速する
男性リーダーの会

パートナーシップ構築宣言



GXリーグ



社会からの評価(2024年8月時点の主なもの)

FTSE4Good Index Series



FTSE Blossom Japan Index

FTSE Blossom
Japan IndexFTSE Blossom Japan Sector
Relative IndexFTSE Blossom
Japan Sector
Relative IndexS&P/JPXカーボン・
エフィシエント指数MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数2024 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

THE INCLUSION OF Kobe Steel, Ltd. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF Kobe Steel, Ltd. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

MSCI日本株女性活躍指数(WIN)

2024 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

THE INCLUSION OF Kobe Steel, Ltd. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF Kobe Steel, Ltd. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

CDP

「気候変動」で A(-Aマイナス)の評価を
4年連続で獲得

プラチナくるみん



PRIDE指標



3年連続「ゴールド」を受賞

健康経営優良法人2024
(ホワイト500)

5度目の認定

ディスクロージャー優良企業
(2023年度)

鉄鋼・非鉄金属部門で1位

独立した第三者保証報告書

独立した第三者保証報告書

2024年8月29日

株式会社 神戸製鋼所
代表取締役社長 勝川 四志彦 殿

KPMGあずさサステナビリティ株式会社
大阪市中央区北浜三丁目5番29号
パートナー 家弓 新之助 ㊞

当社は、株式会社 神戸製鋼所(以下、「会社」という。)からの委嘱に基づき、会社が作成したESGデータブック2024(以下、「データブック」という。)に記載されている2023年4月1日から2024年3月31日までを対象とした★マークの付されている環境パフォーマンス指標(以下、「指標」という。)に対して限定的保証業務を実施した。

会社の責任

会社が定めた指標の算定・報告規準(以下、「会社の定める規準」という。データブックに記載。)に従って指標を算定し、表示する責任は会社にある。

当社の責任

当社の責任は、限定的保証業務を実施し、実施した手続に基づいて結論を表明することにある。当社は、国際監査・保証基準審議会の国際保証業務基準(ISAE) 3000「過去財務情報」の監査又はレビュー以外の保証業務」及びISAE3410「温室効果ガス情報に対する保証業務」に準拠して限定的保証業務を実施した。

本保証業務は限定的保証業務であり、主としてデータブック上の開示情報の作成に責任を有するもの等に対する質問、分析的手続等の保証手続を通じて実施され、合理的保証業務における手続と比べて、その種類は異なり、実施の程度は狭く、合理的保証業務ほどには高い水準の保証を与えるものではない。当社の実施した保証手続には以下の手続が含まれる。

- データブックの作成・開示方針についての質問及び会社の定める規準の検討
- 指標に関する算定方法並びに内部統制の整備状況に関する質問
- 集計データに対する分析的手続の実施
- 会社の定める規準に従って指標が把握、集計、開示されているかについて、試査により入手した証拠との照合並びに再計算の実施
- リスク分析に基づき選定した国内事業所1ヵ所における現地往査
- 指標の表示の妥当性に関する検討

結論

上述の保証手続の結果、データブックに記載されている指標が、すべての重要な点において、会社の定める規準に従って算定され、表示されていないと認められる事項は発見されなかった。

当社の独立性と品質マネジメント

当社は、誠実性、客観性、職業的専門家としての能力及び正当な注意、守秘義務及び職業的専門家としての行動に関する基本原則に基づく独立性並びにその他の要件を含む、国際会計士倫理基準審議会の公表した「職業会計士の倫理規程」を遵守した。

当社は、国際品質マネジメント基準第1号に準拠して、倫理要件、職業的専門家としての基準並びに適用される法令及び規則の要件の遵守に関する方針又は手続を含む、品質マネジメントシステムをデザイン、適用及び運用している。

以 上